

ネパールライフ

～ シニア海外ボランティアに応募して～

金森 利至

2012年12月19日

ボランティア活動

隠されていた問題点を指摘し、今後の支援継続可否の判断材料を提供した

ただ、問題があまりにも多すぎて、当初目的に対しては、満足のゆく活動は出来なかった



ネパールの概要

(ネパール連邦民主共和国)

➤ 国土

14.7万km² (北海道の約1.8倍)

➤ 人口

約2,662万人 (2011年)。約103の民族

➤ 首都

カトマンズ (人口は174万人)

➤ 政体

共和制 (1995-2006年の**マオイスト** [共産党毛沢東主義者] と国軍との内戦終了後、2008年に王政廃止)
制憲議会が開催されたが、政争のために**未だに新憲法は未制定**

➤ GDP (国内総生産)

186億ドル (日本の**1/316**。2011年IMF)

主産業は**農業**と**観光**。(就業人口の約7割が農業に従事)

➤ 宗教

ヒンズー教徒が約81%。仏教徒が約11%

カースト制度が社会に根強く残って、社会に大きな影響を持つ

➤ 言語

ネパール語が公用語。その他に各民族が使う言語が50以上 (識字率:59%)

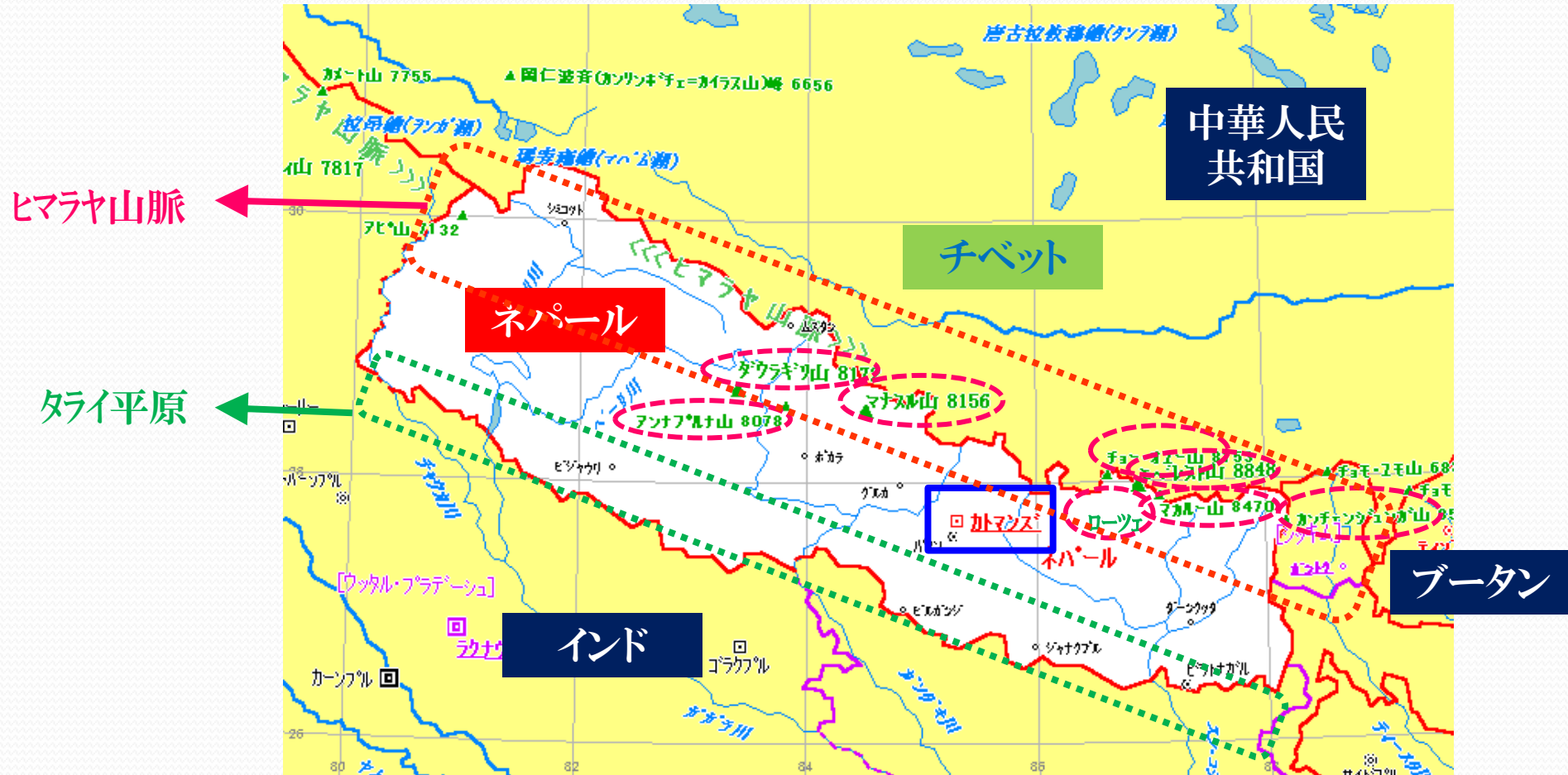
北(中国) ↔ 南(インド)

ヒマラヤ山脈
8000m(寒い)

カトマンズ盆地
1300m

タライ平原(農地、暑い)

ネパールの地理



ネパールには世界の8000m超の峰14座の内8座が在る

エベレスト(8848m、1位)、カンチェンジュンガ(8586m、3位)、ローツェ(8516m、4位)、マカルー(8485m、5位)、
チョー・オユー(8201m、6位)、
ダウラギリ(8167m、7位)、マナスル(8163m、8位)、アンナプルナ(8091m、10位)

カトマンズの景観



日干し煉瓦造りの建物が多く、建て込んでいる



乾期の好天日には北にヒマラヤが見える
ガネシュ・ヒマール(主峰は7406m)



頻発するバンダ (ストライク) 時は街中ゴミの山



交通量(特にバイク)が多い。埃っぽく、警笛などの騒音も酷い
(外出時はマスク着用が無難)

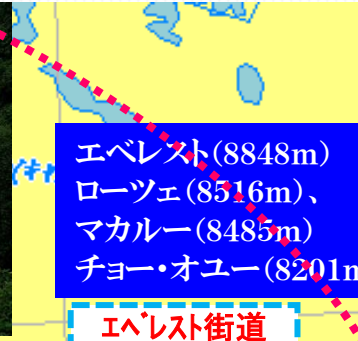
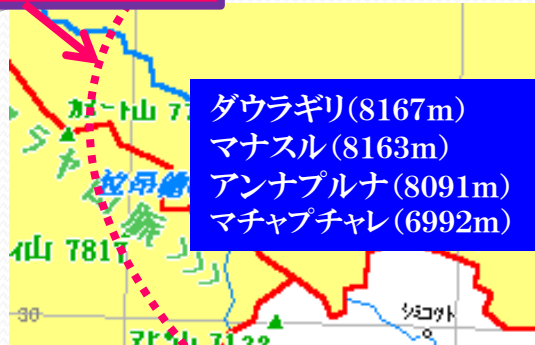
ネパールの主要観光サイト

トレッキング

アンナプルナ

ポカラ

ランタン国立公園



エベレスト街道

ランタン・リルン
(7234m)



ルンビニ

ボウ国立公園



釈尊生誕地

カトマंडウ

ネパール

カトマंडウ



カトマンズ主要観光サイト



(最大の繁華街)



(2006年までは国王の住居。
現在は博物館)



(最大のヒズー寺院)



(ネパール最大の仏塔)



(見晴らしの良い
高台の寺院)



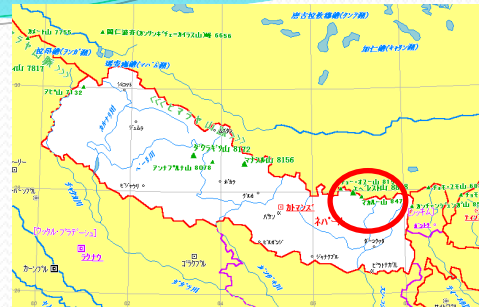
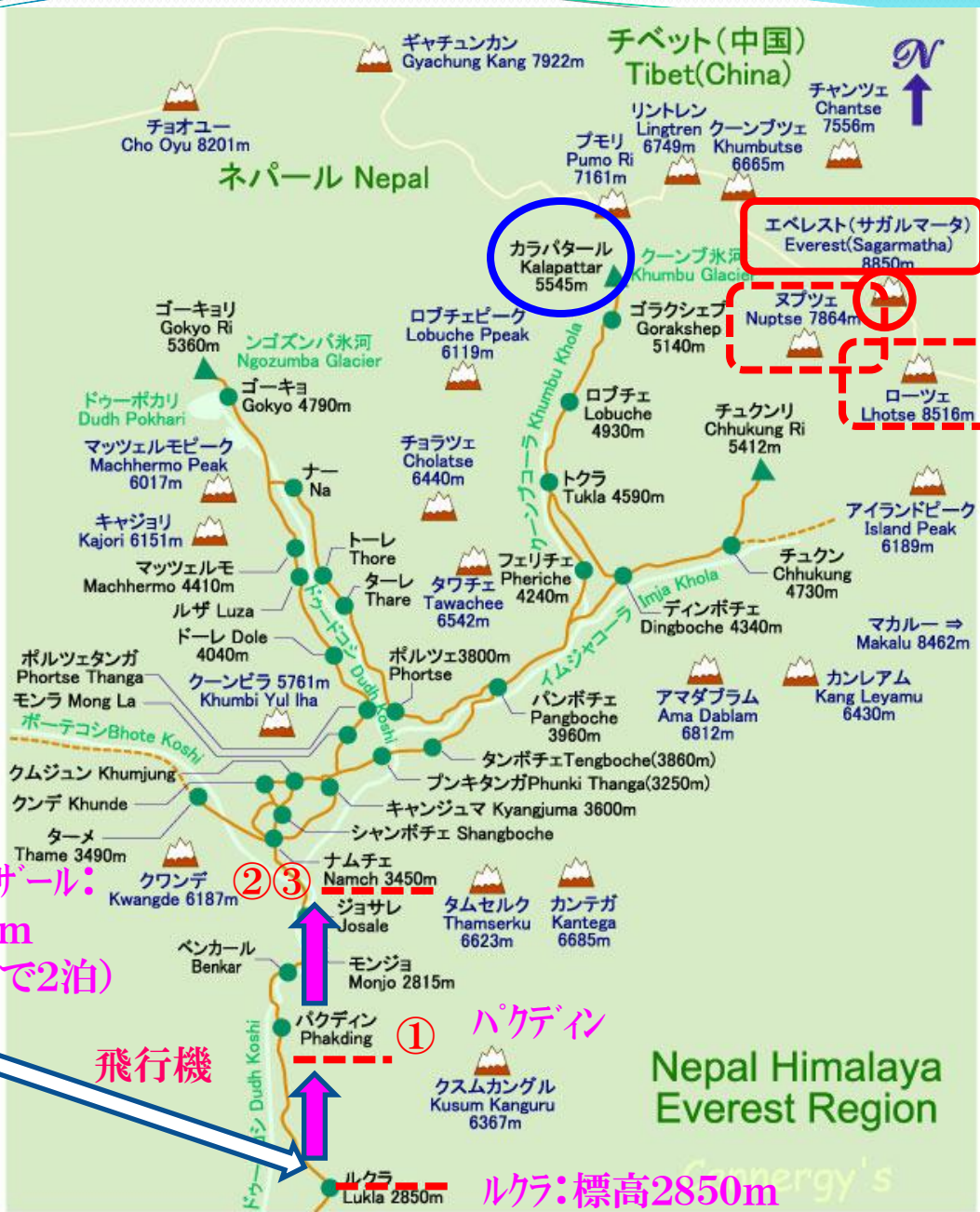
(カトマンズの
旧王宮前広場)



王宮博物館

タメル

エベレスト街道トレッキング



計13日間(カマンズから)/10月

ナムチェ・バザール：
3440m
(高地馴化で2泊)

カマンズ
標高
約1300m

飛行機

パクティン

Nepal Himalaya
Everest Region

ルクラ：標高2850m

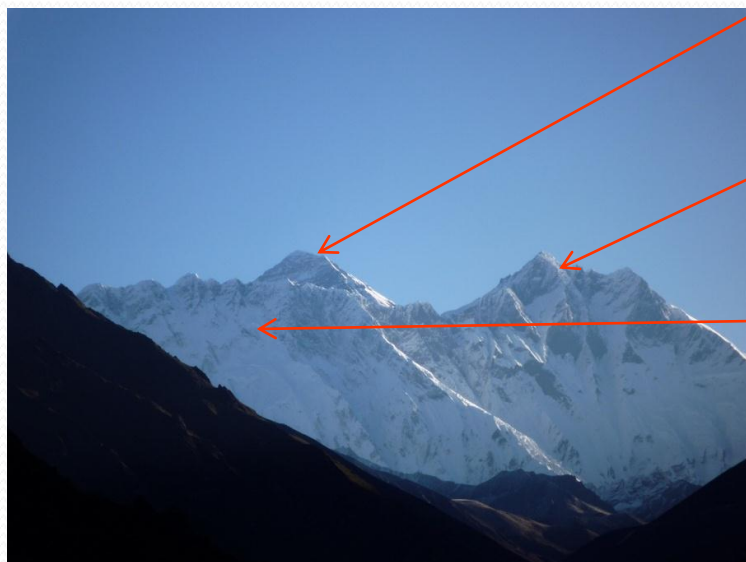
エベレスト街道トレッキング



ポーターの父娘
(約30kgを担ぐが手間賃は500円/日程度)



シェルパ族の最大の町ナムチェ・バザール (3440m)
高地馴化のために2泊



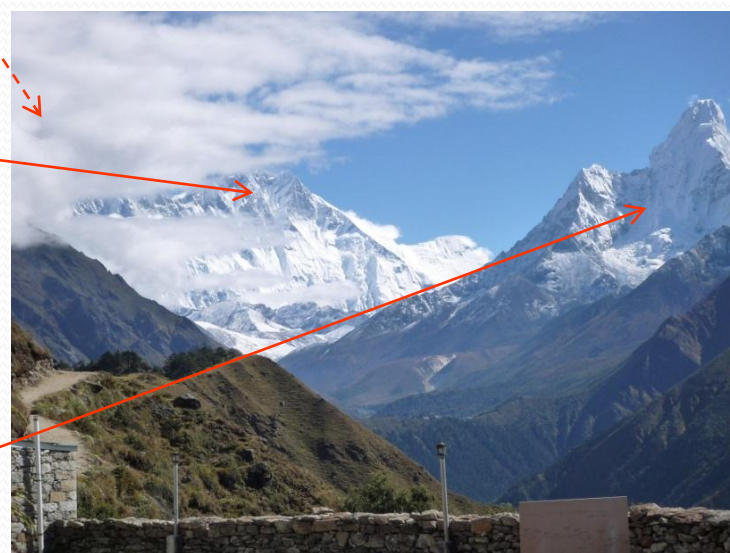
ナムチェ・バザールのビューポイントから見たエベレスト
手前の山並みはヌプツェ (7864m)、右の峰はローツェ (8516m)

エベレスト
(8848m)

ローツェ
(8516m)

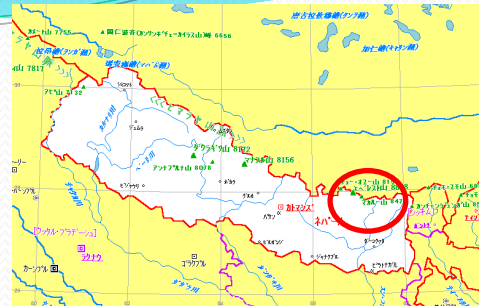
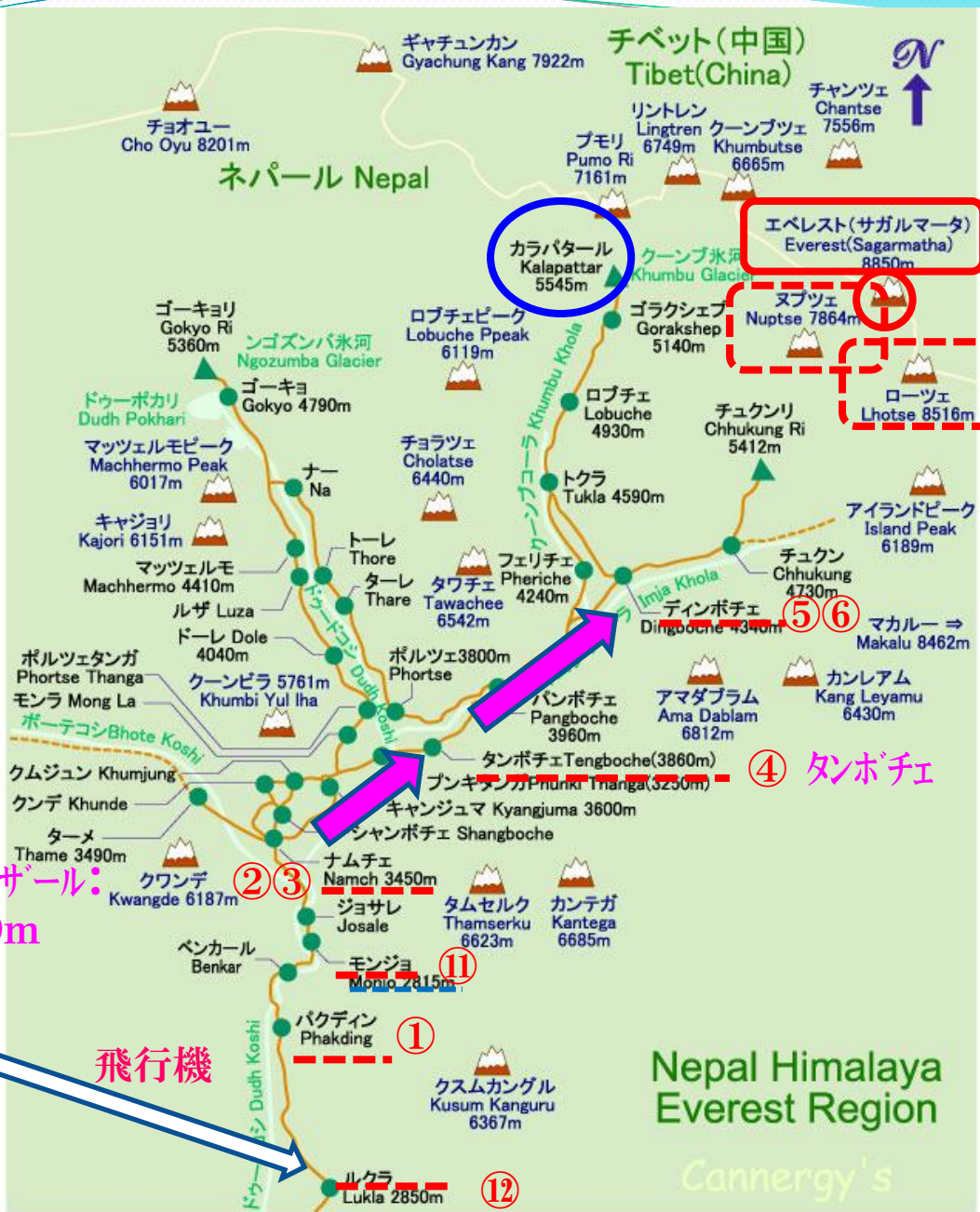
ヌプツェ
(7864m)

アマダブラム
(6812m)



ジャンボチェの丘 (3720m) にて
左の峰はローツェ (8516m)、右は名峰アマダブラム (6812m)

エベレスト街道トレッキング



計13日間(カマンズから)/10月

デインボチェ：
4340m
(高地馴化で2泊)

カトマンズ

標高
約1300m

飛行機

Nepal Himalaya Everest Region

エベレスト街道トレッキング

ヌプツェ
(7864m)

エベレストが頂きが
僅かに見える

ローツェ
(8516m)



5日目:タンポチェからデインボチェ(4410m)に向かう (森林限界を超えた)

エベレスト街道トレッキング

ヌプツェ
(7864m)

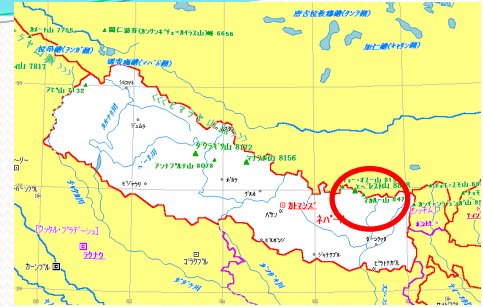
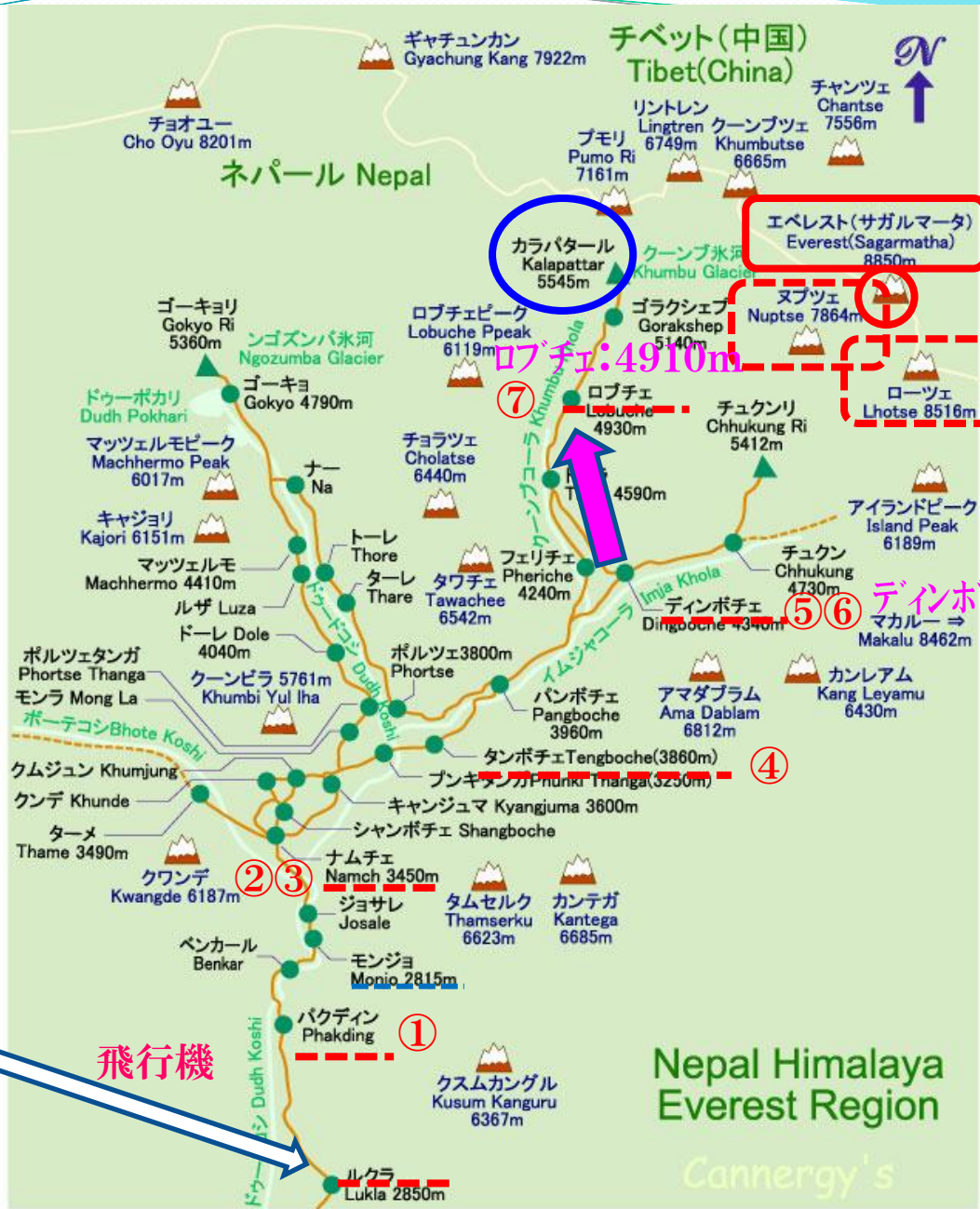
エベレストが頂きが
ほんの僅か見える

ローツェ
(8516m)



6日目：デインボチェ(4410m) 近くの小山の上の氷河湖にて (高地馴化のためにデインボチェで2泊)
左にヌプツェ(7864m)、右の峰は世界第4位の高峰ローツェ(8516m)

エベレスト街道トレッキング



計13日間(カマンズから)/10月

登山口: 4340m

カトマンズ

標高
約1300m

飛行機

エベレスト街道トレッキング

アマダブラム
(6812m)



7日目：デインボチェ(4410m)からロブチェ(4910m)に向かう
高地ではヤクが荷物を運ぶ。後方の山は名峰アマダブラム(6812m)

エベレスト街道トレッキング

プモリ
(7161m)

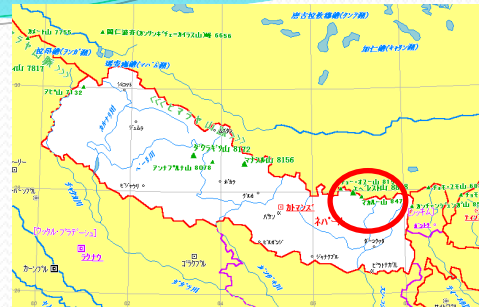
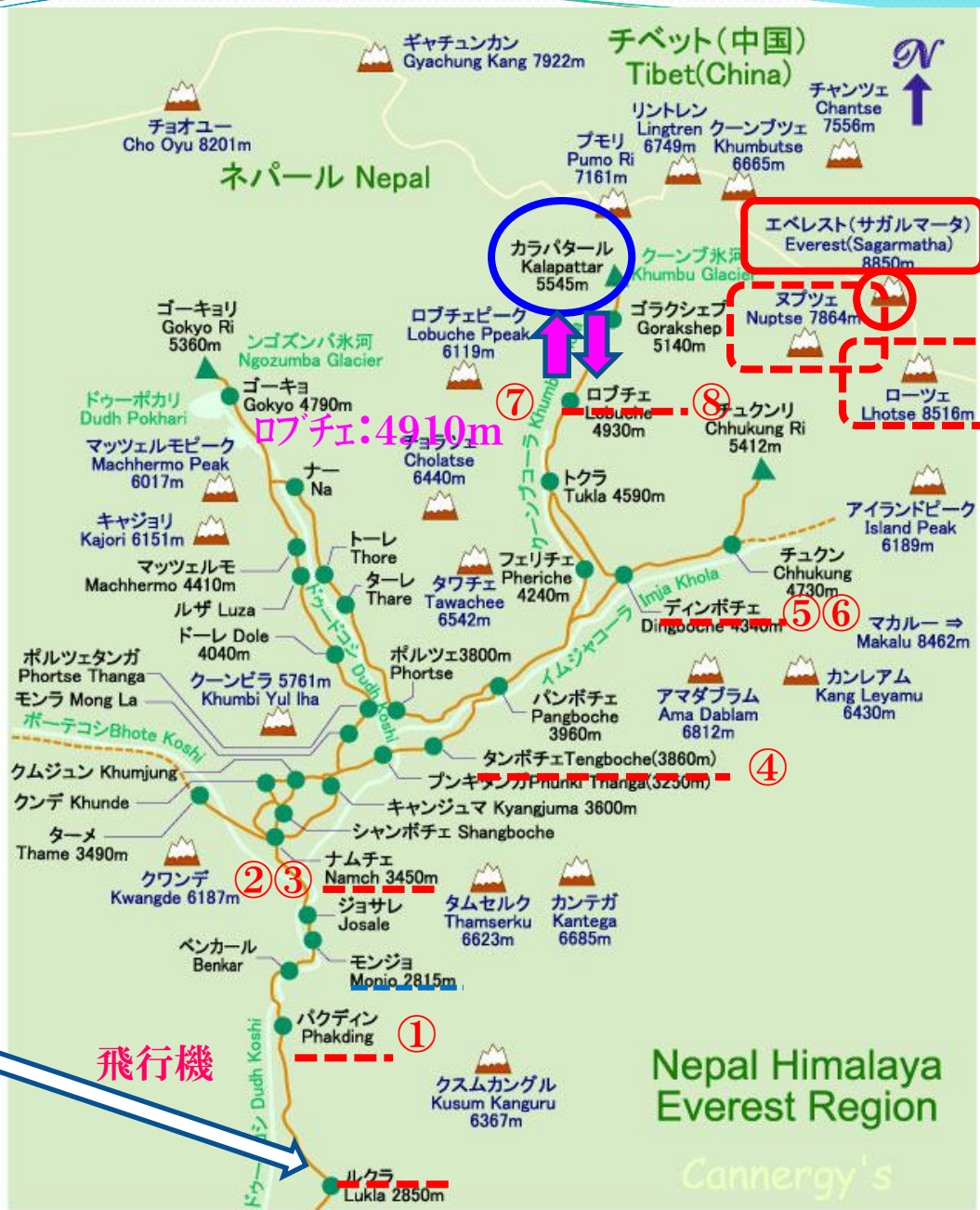


エーデルワイス



クーンブ氷河上のガレ場を**ロブチェ(4910m)**に向かう
左の峰はチベットとの国境の山プモリ(7161m)。遠くに目的地カラ・パタールが見える

エベレスト街道トレッキング



計13日間(カマンズから)/10月

日本からの旅行の場合

◆カラ・パタル(5545m)まで

⇒日本からだと3週間程度

(余裕を持った日程が必要)

・飛行機の遅れ対策

・カトマンズでの高地馴化

等を考慮

カトマンズ

標高
約1300m

飛行機

エベレスト街道トレッキング

エベレスト
ウエスト
ショルダー

エベレスト
(8848m)

ヌプツェ
(7864m)



クーンブ
氷河

エベレスト登山
のベースキャンプ
(5364m)

カラ・パタール
(5550m)

世界最高峰エベレスト(8848m) [カラ・パタールより]

エベレスト街道トレッキング

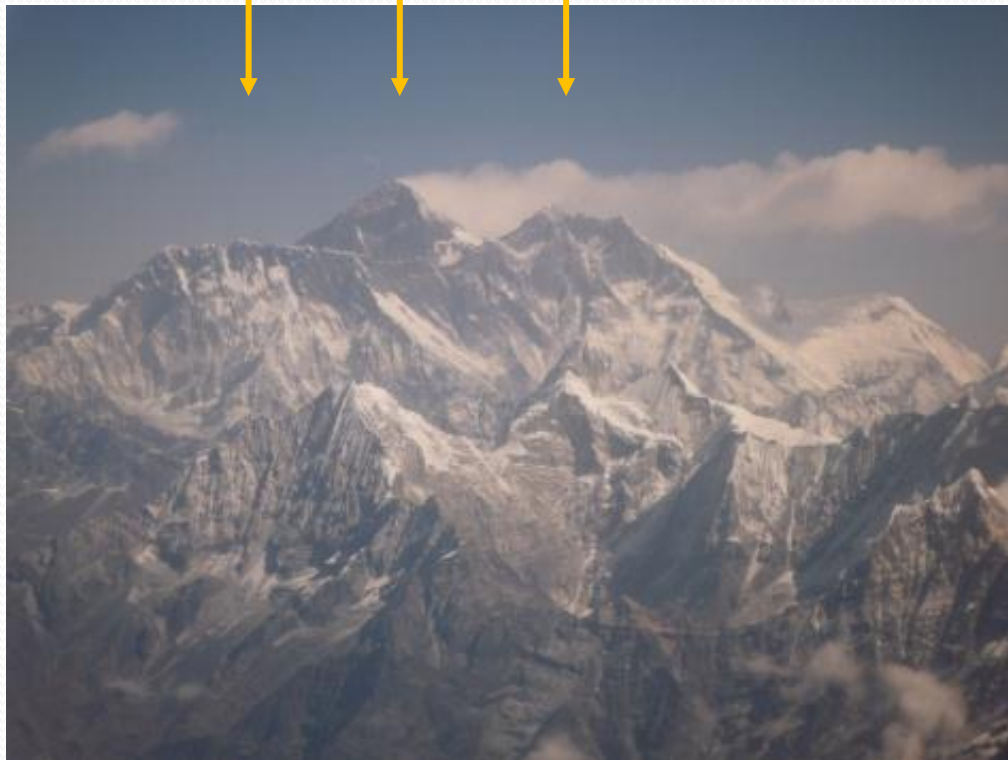


エベレストの峰 (8848m)

マウンティンフライト

スプツェ (7864m) エベレスト (8848m) ローツェ (8516m)

カマンスより約1時間の遊覧飛行。約 \$ 160



雲を吐く
エベレスト

問題点:

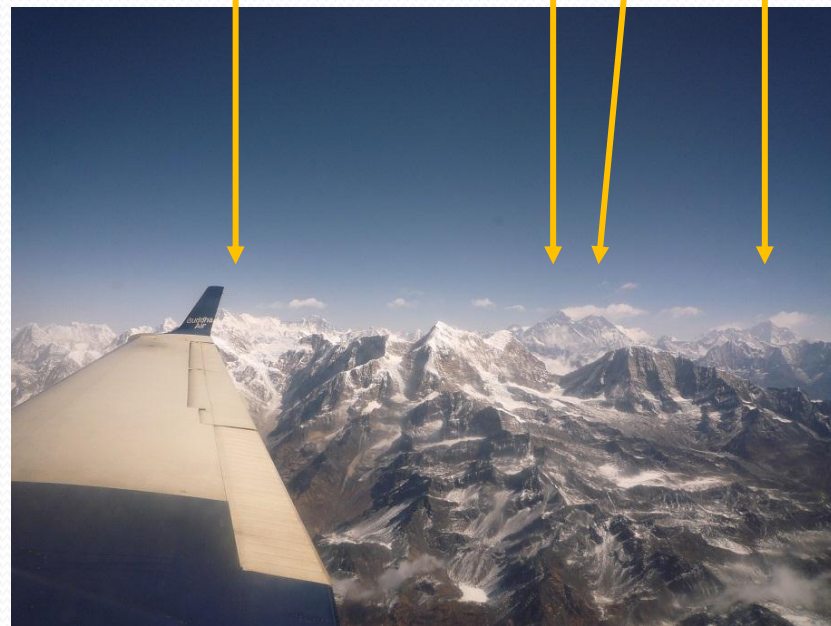
手軽でよいが、欠航や飛行機
のトラブルが多い



マウンティンフライト
の小型機

聳えるヒマラヤ
の巨峰

エベレスト (8848m)
ローツェ (8516m) マカルー (8485m)
チョー・オユー (8201m)



ランタン渓谷トレッキング

[世界で最も美しい谷の一つへ]



計9日間(カマンスから)／8月

雨季で激しく流れ落ちるランタン川

ランタン渓谷トレッキング

[世界で最も美しい谷の一つへ]



流れ落ちる滝 (ランタン村、3330m)

ランタン溪谷トレッキング

[世界で最も美しい谷の一つへ]



美しい高山植物の宝庫 (ランタン村3330m付近)

ランタン溪谷の花々（標高3000m付近）



アンナプルナへのトレッキング

① プーンヒル へ (山々とラリグラス (シャクナゲ) を見に)



計6日間(カマンズ
から)／3月末

どこまでも続く満開のネパール国花ラリグラス (シャクナゲ) の林

アンナプルナへのトレッキング



満開の大きなラリゲラス (ジャクナゲ) の花

アンナプルナへのトレッキング



ラリゲラス (シャクナゲ) の林越しのダウラギリ(8167m)

アンナプルナへのトレッキング

② アンナプルナ内院へ



ヒマラヤ雪の下

トレッキングコース最高点のアンナプルナベースキャンプ(4130m)にて
背後は聖なる名峰マチャプチャレ(6993m)

計11日間(カトマンズから)／2～3月

アンナプルナへのトレッキング



聖なる名峰 **マチャプチャレ** (6993m。「マチャプチャレ」とは「魚の尾」の意味で、頂上が2つに分れて魚の尾の形)

アンナプルナへのトレッキング

神々が坐すアンナプルナの山々



フェワ湖

ポカラ市街

ポカラのフェワ湖畔の丘から湖越しにアンナプルナ（豊穡の女神）の山々を見る

海外ボランティア活動に感じたこと

➤ 発展途上国でのボランティア活動は簡単ではない

- **本当のニーズが無い所では良いボランティア活動はできない**
 - 期待と実態が異なることがある（実はニーズがなかった場合 ⇒ 失望に繋がる）
 - 赴任先の現地人責任者が良ければ活躍できるが・・・
⇒ NGOも含めて「金」目当てが多いので要注意（日本人は鴨になり易い）



「ボランティア」という言葉が美しいが故に注意が必要

本当のニーズ
があるか等、
事前の精査
が必要



大きすぎる
期待は禁物

- **若手よりはシニアが適する**
 - 技術や経験がないと、質の高い貢献はできない
 - ただし、日本の将来の担い手たる若者には、発展途上国での生活はよい体験になる
⇒ 「ボランティア」に代わる明確なミッションで若者を派遣した方がよいのではないか
- **発展途上国の援助の難しさ**
 - 長期間支援を続けても発展しない国もある
⇒ 援助が本当に必要な所に行っているのか？ 適切な検証が大切

➤ よい経験になった

- **世界の現実の一部を見られた**（格差や差別の大きな社会に、安定と安全はない）
- **日本のありがたさを実感できた**（日本国民の政府への要求も急増 ⇒ 日本人もすれた？）

➤ 長かった会社生活をリセットできた（会社生活と区切りがつけられた）

私のネパールライフ

「神々の山頂」を見れたトレッキング



カトマンズとヒマラヤ



アンナプルナの山々



エベレスト

終わってみれば、摩訶不思議な国での懐かしい思い出



女性の祭りティージ

2年を過ごした
カトマンズの街



若いボランティアと交流



シニア仲間との飲み会

異郷での琴線に触れる交流

いろいろあったが、良い経験であった